

希望坂(北中だより)

第17号 令和6年2月6日

みやき町立北茂安中学校

校長 古賀 健司

<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-j/>



学校教育目標

「夢や目標をもち

チャレンジ精神と思いやりの心に

満ちあふれた生徒の育成」



◇剣道部快挙！～全国3位～◇

昨年12月27日(水)、兵庫県で開催された内閣総理大臣杯授与第38回若鷲旗剣道大会においてみやき中学校(北茂安中と中原中の合同チーム)として出場した女子剣道部が、全国から選抜された強豪との熱戦を勝ち上がり、見事3位となりました。

本校剣道部の女子部員は2名ですが、男子部員と共に厳しい練習に励み、心身を鍛えてきました。写真の表情からも、日頃の頑張りや充実感があふれているように思います。

剣道部の生徒はいつも明るく元気にあいさつし、部活動以外の場面でも活躍し、学校に前向きな空気をもたらしてくれています。

今後さらなる活躍に期待しています。

内閣総理大臣杯授与 第38回若鷲旗剣道大会



◇朝の心温まる瞬間◇

1月23日(火)、前日からの雪で、平地でも雪が降りました。そんな朝も生徒は元気に登校します。1年生の女子生徒が「朝、家で雪だるまをつくりました」と教えてくれました。積もった雪に感動し、それが雪だるまをつくるきっかけになる‘若さ’を微笑ましく、また、うらやましく思いました。



そんな中、私の前を素早く通り抜けていった2人の男子生徒が自転車の後ろに大きな雪玉を荷ひもでくくりつけていることに気づきました。

一瞬、「まさか、あの大きさの雪玉を校舎内に持ち込むことはないよなあ…」、「自転車には雪玉以外、何ものせていなかつたけど…、勉強道具は？」との思いが浮かびましたが、つい、そのことを忘れてしまっていました。

翌日、生徒玄関前に雪だるまが立っていました。3年生はやることが違うなど笑っている自分がいました。「受験大丈夫？」と思わない訳ではありませんが、落ち着かない日々が続くなかでの気分転換だと受け止めました。

最近も3年生女子から「毎朝寒い中、(登校指導に)立ってもらってありがとうございます」との言葉をもらいました。また、横断歩道を渡ったあとで、信号を渡り切れなかった人のために、歩行者用信号のボタンをさりげなく押してくれている生徒にも感動しました。日頃から、書ききれないほどこのこのような心温まる行為、笑顔やさわやかな挨拶をふりまいてくれる生徒にエネルギーをもらっています。何度も言いつりませんが、これからも「ありがとう」を伝えたいと思います。



◇バレー・ボール巡回スクール～新鍋理沙さんをお招きして～◇

2月2日(金)、元女子バレー・ボール全日本代表で、ロンドンオリンピック銅メダリストでもある新鍋理沙さんはじめ、久光スプリングスのみなさんをお招きして、バレー・ボール巡回スクールを実施しました。

最初に新鍋さんの講演、引き続いだバレー・ボールスクール(2年生各クラス1時間ずつ)という内容でした。

講演後の質問タイムでは、「調子が悪い時はどうしていましたか?」「チームの雰囲気が悪い時はどうしたらいいですか?」「身長が高くなるために何を食べていましたか?」など、生徒は部活動で悩んでいること中心にたくさん質問していました。

バレー・ボールスクールでも、多彩なメニューを楽しみながら、バレー・ボールに興味をもったようすでした。以下、講演内容の一部を紹介します。



ロンドンオリンピックの銅メダルを見せていただき、よろこぶ生徒たち

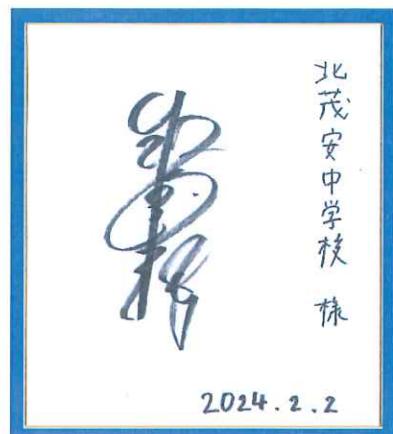
講演『「バレー・ボールと私～バレー・ボールが教えてくれたこと～』

【久光スプリングスでのこと】

中田久美監督の指導は厳しく、常にレベルの高いことを求められ、頭も身体もいっぱいだったけど充実していた。世界クラブ選手権では、チームが一つになったのを感じることができた。

【日本代表チームでのこと】

日本代表になったときは、他の選手の技術、プレーの準備や練習に対する意識の高さを感じた。初めて出場した時は緊張して何もできなかった。ロンドンオリンピックでは、本戦よりも予選の方がきつかった。プレッシャーで眠れない日が一週間続いた。準決勝中国戦は、何年も勝てなかつた相手だったのに、心が「無」の状態というか集中していた。負ける気がしなかつた。根拠のない自信があった。



【バレー・ボールを通して学んだこと】

①夢をもとう！

夢をもつとやるべきことが明確になる。取組に目的が生まれる。

・今、夢が見つからない人は、好きなことでも何でもいいので、見つけてくれるといいのかなと思う。

上手くいかないときは、成長のチャンス！

・実際は、ずっとうまくいく訳ではない。私もうまくいかないことが多かった。上手くいかないときは必ずやってくる。それを乗り越えた時に成長できる。

・自分はダメだ。向いていないと思う必要はない。今できなくても、頑張った後に可能性は広がる。

②人との出会いを大切にしよう！

・全世界80億人の中で会える人は限られる。目の前にいる人の出会いは奇跡。何かの縁でつながっている。

・人に助けてもらうことや協力してもらうこと、相談することは決して恥ずかしいことではない。そういう人を見つけることも大切。一人でできることには限界がある。みんなで乗り越えていくことも必要なこと。

何かを成し遂げる人は、挫折しても努力をやめず、継続する術をもっているように思います。新鍋さんは何を大事にし、物事をどう受け止め、どう行動してきたのか…。貴重なお話を伺うことができました。